

川内原子力発電所温排水影響調査事業

田原義雄・原田彰久・東剛志・石田博文・槐島光次郎

【目的】

昭和57年度からの継続調査で、川内原子力発電所から排出される温排水が周辺海域に与える影響を調査する。

【方法】

調査の日程、項目は下記のとおりである。調査項目は、水温・塩分、流況、海生生物「海藻類、潮間帯生物（動物）」、主要魚類及び漁業実態調査で、調査定点、方法とも前年と全て同じである。

平成20年度温排水影響調査一覧

調査項目	調査の内容	平成20年度実施時期		
		春季	夏季	冬季
1 水温・塩分	(1) 水平分布		平成20年7月3日	平成21年2月24日
	(2) 鉛直分布		平成20年7月2日	平成21年2月23日
2 流況	(1) 25時間調査		平成20年7月2～3日	平成20年2月5～6日
	(2) 15日間調査		平成20年7月2～17日	平成20年2月5～20日
3 海生生物	(1) 海藻類	平成20年5月15～16日		
	(2) 潮間帯生物	平成20年5月15～16日		
4 主要魚類 及び 漁業実態	(1) イシ類(シラス) バッチ網	平成20年1月～12月(周年)		
	(2) マダイ, チダイ	平成20年4月～12月		

【結果】

温排水の拡散範囲は、過去と同様、放水口周辺に限られており、また、流況や周辺海域の海藻類、潮間帯生物（動物）、主要魚類及び漁業実態についても、過去の調査結果の変動の範囲内であった。なお、詳細な結果については、平成20年7月14日（第1回）、平成20年11月28日（第2回）に開催された鹿児島県海域モニタリング技術委員会に提出した調査結果報告書及び『平成20年度温排水影響調査報告書』に記載したとおりである。